

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市今宿西地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

今宿地区では、連合町内会自治会を中心として、『多くの人と交流ができ、支え合うまち今宿』『安心して暮らすことができるまち今宿』を目指す地域の姿として、継続的に福祉保健活動への取り組みがすすめられていました。これまでに「私の健康カード」「防災安全カード」が継続的に作成、配布され、地域住民の中に定着してきました。また、各町内会で、ごみ集積場所を「いっとき避難場所」として決め、一番身近なご近所同士で安否確認する仕組みを作り、実際に防災訓練にも取り入れられていました。さらに、第2期地域福祉保健計画では、70歳以上の高齢者を対象とした「困った時のあんしんカード」を導入し、外出先で万が一のケガや病気に見舞われた際、周囲の人の手助けを受けての救命率アップを目指していますが、外出時に持参している人が少ない状況でした。地域行事の際に携行していただくように呼びかけられる等、普及に努められました。

「こども・高齢者等の見守りネットワーク」については、学童の通学時の交通指導、防犯の見守りによるこどもの見守り、老人昼食会や配食、各種サロンの開催により高齢者の見守りが行われました。第3期地域福祉保健計画では、地域のサポーターが高齢者・障がい者のちょっとしたお困りごとのお手伝いをする「今宿地区チョットお手伝い」を立ち上げることが計画され、活動開始に向けて協議を重ねられました。

今宿地区では、子供から高齢者まで誰もが参加できる場として、自治会町内会等の地区行事が、年間を通じて行われました。平成27年度から「地区だより」の発行回数が年2回から年4回へと増やされ、地域行事や活動をタイムリーに広報する取り組みがすすめられました。次世代の地域活動の担い手育成としてすすめている「中学生ボランティア事業」「ジュニアボランティア事業」を各種団体が協力して、推進されました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

指定管理者として、法定保守点検対象項目について、法令を遵守して実施しました。また、施設の不具合の発見時には、速やかに関係機関に処置を依頼し、不具合状態をすぐに復旧させる体制を整え。緊急時は、区の担当窓口連絡し、相談・助言を受けながら適切に対応致しました。

清掃に関しては、専門業者による定期清掃の他、日常的に職員が館内を清掃し、常に清潔な空間を保持致しました。

ご利用者の皆様に、施設を常に安全かつ快適にご利用していただけるように努めました。

イ 効率的な運営への取組について

指定管理者としてより効率的に施設を運営する為、予算の執行においては、物品購入の際には2社以上から見積書を取り、より低価格で購入できるように努めました。人員の適正な配置につきましては、例えば、地域活動交流部門においては、日々の事業内容に応じてサブコーディネーターを配置する等、人件費の抑制に努めました。

また、地域包括支援センター、居宅介護支援、地域活動交流の各部門の職員が常に情報交換を行うことで、地域のニーズを適切に把握し、自主事業の開催、情報提供の機会の設定、適切なサービス提供等の課題解決につなげました。

ウ 苦情受付体制について

地域の有識者の方々にご協力いただき、苦情処理に関する第三者評価委員を設置し、対応できる体制を整えました。また、館内に「ご意見箱」を常設し、ご意見ご要望が寄せられた際には、対応を協議し、対応した結果につきましては、館内に掲示し、施設を利用されるすべての皆様にご報告致しました。また、苦情が発生した場合には、速やかに対応し、再発防止に向けて原因の解明に努め、職員で共有できる体制を整えておりましたが、苦情はございませんでした。

さらに、月1回発行している広報紙の紙面においても、ケアプラザについてのご意見・ご要望・苦情について、常時、受け付けている旨をお伝え致しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防災対策としまして、年に2回以上の訓練を実施し、有事の際に全職員が適切な対応をとることができるように努めました。防災訓練につきましては、旭消防署のご協力をいただきながら、職員及び施設利用者全員で緊急時の避難及び消火器の使用訓練、AEDの使用方法を含めた救命救急講習を実施しました。

また、防犯対策としまして、閉館後は、専門の警備会社に警備業務を委託し、不審者等の侵入を防止する対策をとりました。正面玄関以外の扉は常に施錠し、日中、職員による巡回を行いました。

災害時の対応としましては、地域防災拠点等での避難生活が困難な在宅要援護者の為に、当施設を二次的な特別避難場所として開放できるよう、横浜市から応急備蓄物資の供給を得て、常時、受け入れ体制を整えました。また、開設手順をマニュアルにまとめることで、いつでも職員が対応できるように準備いたします。また、「今宿西地域ケアプラザ防災マニュアル」を作成し、緊急時の対応及び連絡体制を整えました。

オ 事故防止への取組について

軽微な事故（ヒヤリハット事例含む）や予測される事故の全てを報告の対象にし、朝の打ち合わせの際、各部門の職員ミーティングの際に報告・検討し、周知徹底を図り、再発を未然に防ぐよう努めて参りました。特に危険と思われること、再発が危惧されることに対しては、シミュレーションして意見交換を行いました。報告すべき事故が発生した際には、連絡体制のフロー図通りに対応し、原因究明、関係機関への報告等を速やかに行います。報告書につきましては、職員一人一人が確認できるように、決められたファイルに保管し、閲覧できるように致しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

職員に対して、「個人情報保護」についての研修を法人内で実施し、個人情報の取り扱いについて注意を喚起する機会を設けました。さらに、全職員に対して、個人情報取り扱いについて法令を遵守する旨の誓約書の提出を義務付けました。通所介護事業、居宅介護支援事業、介護予防支援事業等の契約書に盛り込まれている個人情報の取り扱いについての事項を遵守するとともに、職員が個人情報を取り扱う際には、「個人情報・取扱いについてのマニュアル」に基づき対応しました。また、個人情報が含まれる、通所介護のご利用者へお渡しする書類（連絡帳、領収書）に関しては、手渡しを原則とし、その他、ご利用者、取引業者にお渡しする書類等の発送、発信の際は、発送、発信の前に、誤発送、誤送信がないよう複数のスタッフで確認しました。

データ保存で使用するメディア（USB）は、施設外への持ち出しを禁止しています。また、鍵がかけられる扉の中で保管致しました。

キ 情報公開への取組について

月1回発行の広報紙で、施設の事業内容を紹介しました。また、年に一回の利用者アンケートの集計結果を館内掲示にて、公表しました。また、運営協議会において、地域包括支援センターの相談件数、居宅介護支援部門の担当件数、施設の利用状況等を報告致しました。

ク 人権啓発への取組について

横浜市から発行される「人権」に関するポスター、広報紙を館内に掲示し、施設利用者への啓発を行いました。

4月の法人全体研修において、「人権擁護」についての職員研修を実施しました。また、人権擁護に関する文書等を施設職員で回覧し、それぞれの業務遂行にあたっては、人権に配慮して行うように努めました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

「資源を大切に」の観点から、施設内にごみ排出責任者を配置し、職員への分別ルールの周知、徹底を図りました。また、排出項目別のごみ箱の設置等、ごみを分別しやすい施設環境を整えており、平成28年度も、ごみ排出の際には、横浜市の分別ルールを厳守し、リサイクル可能な紙・段ボール類については、すべて古紙回収に回し、リサイクルの徹底に努めました。

ペットボトル、空き缶、牛乳パック等は、ごみとして排出せず、デイサービスでのレクリエーションや創作活動に使用し、再利用を心がけました。

年間を通じて、職員一人一人が節電・節水を心がけました。特に夏季の電力使用を抑制する為、施設の空調・照明を最小限で使用していただくように、施設利用者の皆様に協力を呼びかけました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- 看護師 1名
- 社会福祉士 1名
- 主任ケアマネジャー 1名

《目標》

- ・ 専門職がそれぞれの専門性を発揮し、地域で住み続けやすいよう介護保険、インフォーマルサービスを組み合わせ、ケアプラン立案を進めてまいりました。
- ・ 3職種が相談しやすい雰囲気作りをし、困難事例などにも取り組んで参りました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 迅速な対応を心がけ、住みやすいまちづくりのお手伝いをしていきます

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
79	77	71	65	57	49
10月	11月	12月	1月	2月	3月
42	35	33	35	37	38

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- 常勤換算 2.3 名

《目標》

- 適切なケアマネジメントを行い、課題や必要な支援を把握し、居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう支援致しました。
- 利用者の人生観等を尊重し、その利用者の選択に基づいてサービスが提供されるよう支援致しました。
- 介護支援専門員としての倫理を持ち、公平中立に支援致しました。
- 市町村、地域包括支援センター、サービス事業者等の他職種との連携を密に行いました。
- 親切・丁寧・迅速に専門知識をもって、介護保険等の相談に対応致しました。
- 平成28年10月より、緊急連絡用の携帯電話にて、24時間体制で対応致しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 研修や勉強会への参加等を通して、ケアマネジメント業務の質の向上を図りました。
- 緊急連絡用の携帯電話を職員が所持し、ご利用者様・ご家族様からの連絡に、24時間体制で対応できる体制を整えてまいりました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
32	32	32	33	36	59
10月	11月	12月	1月	2月	3月
58	62	60	63	70	75

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排せつの介助、見守り等）
- 入浴及び健康状態の確認、生活指導
- 個別機能訓練プログラム ● 口腔機能向上プログラム

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	704円
（要介護2）	831円
（要介護3）	963円
（要介護4）	1,095円
（要介護5）	1,227円

- 食費負担 750円
- 入浴加算 54円
- 口腔機能向上加算 161円
- 個別機能訓練加算 56円

※送迎を行わなかった場合には、51円（片道）の減算になります。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

- 運営基準に準じて配置しました。

《目標》

- のべ利用者数について、全体の7割を最低ラインとして、常に8割を超えることを目標とし、地域及び事業所へのよびかけに力を入れました。
- スタッフ一同、「笑顔で安心あったかい」をモットーにご利用者様と接することで、地域の皆様に支持される施設を目指し、運営しました。
- 所内研修の実施、所外研修への参加を通じて、スタッフのスキルアップを図りました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 医療依存度が高い方(胃瘻、酸素療法、ストマ、尿カテーテル)を受け入れました。
- ホットパック、マッサージ器等の設備を活用しました。
- 平行棒や上肢交互運動器等、利用者自身で運動を行うための用具を備え、機能向上を図りました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
736	769	747	733	707	719
10月	11月	12月	1月	2月	3月
767	762	749	699	670	776

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス(移動や排せつの介助、見守り等) 送迎、食事
- 入浴及び健康状態の確認、生活指導
- 口腔機能向上プログラム

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要支援1) 1, 766円
 - (要支援2) 3, 621円
- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

- 運営基準に準じて配置しました。

《目標》

- 地域の中で高齢者を支える施設として、誰もが住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、支援して参ります。また、利用者間での交流が図れるようにしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 平行棒や上肢交互運動器等、利用者自身で運動を行うための用具を備え、機能向上を図りました。
- ホットパック、マッサージ器等の設備を導入し、実施しました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
83	71	69	61	57	56
10月	11月	12月	1月	2月	3月
49	59	56	54	56	67

●認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 居宅サービス計画書・認知症対応型通所介護計画書に基づくプログラム提供
(日常生活全般の介護)

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 1, 105円
 - (要介護2) 1, 224円
 - (要介護3) 1, 345円
 - (要介護4) 1, 465円
 - (要介護5) 1, 584円
- 食費負担 750円
- 入浴加算 53円
- 口腔機能向上加算 159円
- 個別機能訓練加算 53円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

- 運営基準に準じて配置しました。

《目標》

- 身体・心理状況に合わせた対応・援助を行いました。
- 生活リズムを大切にしながらプログラムを行うとともに、ADL（日常生活動作）維持・向上を図り、ご家族の介護負担軽減につなげました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 笑顔で安心あったかいをモットーとし、傾聴の姿勢で対応させていただきました。
- マンツーマン対応でご利用者様の思いを汲み取り、できていること、できることを見つけるように心がけていました。

《利用者実績（延べ人数）》 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
51	51	54	54	47	50
10月	11月	12月	1月	2月	3月
56	47	45	40	50	65

地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

身近な場所として気軽に相談に来ていただけるように、引き続き、ケアプラザの総合相談窓口についての広報活動を実施してまいりました。

ケアプラザの広報紙、自主事業、連合町内会役員会、各町内会自治会役員会、民生委員児童委員連絡協議会の他、各種専門委員会、給食会、老人会、シニアの集い、福祉の集い等で、地域ケアプラザが保健福祉の総合相談窓口であることを紹介しました。

ご相談を受けた際には、必要に応じて適切なアドバイスや各種サービス・関係機関に結び付ける様に対応してまいりました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

地域の会合やお茶のみサロン等に両者で参加し、ケアプラザの事業内容の周知及び地域包括支援センターと生活支援体制整備事業担当者、地域活動交流担当者の紹介をすると共に、地域からの情報の収集、ケアプラザからの情報発信により、地域情報の共有を図って参りました。

- ・部門の担当者全員で、定例ミーティングを実施し、それぞれの部門で把握している情報や課題の共有化を図り、自主事業の開催や、個別訪問等につなげて参りました。
- ・昨年に引き続き、「認知症サポーター養成講座」「よこはまシニアボランティアポイント講習会」を共催にて開催して参りました。

- ・地域内の保健福祉資源をわかりやすく紹介するためのサービスマップ「元気づくりマップ今宿西版」を配布しました。

3 職員体制・育成

- ・定期的に同法人内のケアプラザ合同研修会を実施し、「職員倫理規定」「情報漏えい防止」等の全体会と同職種での分科会を実施し、情報交換及びスキルアップの場としました。

- ・法人内研修だけでなく、職員が専門的な外部研修に積極的に参加する機会を作りました。研修参加後は、研修内容について、全体ミーティング等で他職員に発表することで、全体的なスキルアップを進めて参りました。

- ・外部から専門の講師を招き、管理者である所長を対象とした「PDCA サイクルマネジメント研修」を受講し、職員のマネジメントに活用してまいりました。所長が職員ひとりひとりに対して、定期的な面談等を実施し、個人目標設定、管理、評価を中心とした継続的なマネジメントを行いました。

- ・職員体制において、やむを得ず欠員が生じた場合には、欠員期間を最短にするように、求職活動を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

・ケアプラザは地域支え合い連絡会の事務局として、地域と区行政との調整を図りながら、連絡会を定期的に開催し、地域福祉保健計画の実現を推進して参りました。連合町内会役員会、各町内会自治会役員会や各種専門委員会、地域の催し、民生委員児童委員連絡協議会、給食会、老人会等、地域福祉の担い手の方々の集まりに積極的に参加し、顔の見える関係を作り、それぞれの状況やニーズを把握して参りました。

また、地域支え合い連絡会での高齢者支援に関する現状報告・ご意見の収集、「地域ケア会議」を継続して開催し、各種専門職と地域住民とのネットワーク構築を目指して参りました。

今年度は、前年度より回数を増やして開催することで、話し合いの機会をこれまでより多く作って参りました。

さらに、民生委員さんとの協働により、在宅高齢者への定期的な訪問等を継続的に実施し、その方にあった適切な介護保険サービス、介護保険外のサービスの利用につなげて参りました。

5 区行政との協働

・ケアプラザは、地域支えあい連絡会の事務局として、第3期地域福祉保健計画「安心・安全なまち 今宿」の実現に向けて、地域代表者と区行政との調整役として、課題の抽出、課題の整理を行いながら、地域福祉保健計画推進を区行政と協働ですすめて参りました。

区行政の重点施策方針に合致した事業をケアプラザの事業として取り組んで参りました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・町内会自治会や民生委員児童委員、地区社協等の会合に積極的に参加し、ケアプラザからの情報提供を行うとともに、地域ニーズの把握および福祉保健活動に関する情報収集に努めて参りました。

・ケアプラザ内・外でどのような福祉保健活動が行われているかの情報（とくに子育て関連情報）を地域情報の冊子としてまとめ、発信して参りました。

・情報ラウンジを一新し、子育て世代が休憩などをしやすい環境を作り、情報を入手する機会を増やしました。

・毎月発行する広報紙「ぽけっと」及び旭区広報紙において、ケアプラザ主催の自主事業の告知、ケアプラザの事業紹介、福祉保健活動に関する情報を発信して参りました。

・福祉保健活動団体の活動を広げるために、ケアプラザ館内に活動紹介コーナーを設けて情報提供を行い、活動を支援して参りました。

・昨年度よりケアプラザのブログを開始し、ケアプラザの情報を地域に広く発信する環境を整備しました。さらに、子育て世代等の若い世代に見てもらえるように、ケアプラザの広報紙にケアプラザブログ専用のQRコードを掲載し、携帯電話等からブログを見ることが容易になるように工夫しています。今年度も引き続き、効果的な情報提供を行ってまいりました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

福祉保健活動団体が活動する場として、貸館を積極的にご利用いただけるように、広報紙等で紹介するとともに、ご利用方法等について窓口で丁寧に説明し、快適かつ安心してご利用していただけるように努めて参りました。また、登録団体交流会や発表会等を開催し、登録団体の交流の機会を作って参りました。

・ケアプラザ登録団体の成果を披露し発表する場として、ケアプラザ祭、登録団体発表会等を企画し、活動者の意欲を高めていただくと共に、地域に活動を広げるきっかけと致しました。また、デイサービス内で、「敬老週間」「クリスマス週間」等を企画し、サークル活動をボランティア活動につなげて参りました。

・利用率が低い曜日・時間帯に自主事業を開催し、自主事業終了後は自主サークル化を図り、利用率の向上に努めて参りました。

3 自主企画事業

・高齢者支援、子育て支援、地域向け等、地域ニーズをふまえながら、自主事業を企画し実施して参りました。さらに、今年度は旭区食生活等改善推進員の皆様と協力し地域の子供を対象とした食育に関する事業「おやこでスティックおにぎり」等を開催致しました。

・子育て支援においては、今宿地区の赤ちゃん訪問員と連携し、訪問時に「子育て広場」の案内をしていただき、生後間もない時期から、子連れで参加できる地域の場所の情報提供を行いました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

・地区民児協、地区社協との共催、今宿中学校のご協力で、年間を通した中学生のボランティア活動事業を実施しました。ケアプラザのデイサービス、子育て広場でのボランティア活動をはじめ、地域のお祭り等の行事、清掃活動等、地域住民との交流を通して、中学生のボランティア育成を行って参りました。

事業開始から4年度目になる今年度は、登録生徒数が72名となり、登録生徒のボランティア参加率の向上、ボランティアとしての質の向上を目指すとともに、ボランティア活動部としての結束力やメンバー同士の交流を図るためのイベント等を企画して参りました。

また、本年度より中学生ボランティア活動部を卒業した高校生向けに、ボランティアをする機会を設けました。さらに、コーディネーターがジュニアボランティア活動に顔を出すなどを行い、中学生ボランティア活動の宣伝などを行い、継続的なボランティア活動に繋げる活動を行いました。

・ケアプラザの広報紙、旭区ボランティアセンターの広報紙にボランティア活動者募集を告知し、ボランティア登録者を確保して参りました。今年度は、ボランティア活動者の増加促進の一環として、「よこはまシニアボランティアポイント事業」の登録研修会をケアプラザで実施できるように、準備・体制を整えて参りました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・電話、来所ともに迅速な対応を心がけて参りました。
- ・必要に応じて関係機関と連携をとり、適切な対応を心がけて参りました。
- ・来所によるご相談が難しい方については、訪問により、対応致しました。
- ・総合相談票の書式を見直し、ご相談の内容等を分析し、地域の課題点の発見につなげました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・ケアプラザは地域支え合い連絡会の事務局として、地域と区行政との調整を図りながら、連絡会を定期的で開催し、地域福祉保健計画の実現を推進して参りました。連合町内会役員会、各町内会自治会役員会や各種専門委員会、地域の催し（シニアの集い・福祉の集いは共催で行ないました）、民生委員児童委員連絡協議会、給食会、老人会等、地域福祉の担い手の方々の集まりに積極的に参加し、顔の見える関係を作り、それぞれの状況やニーズを把握して参りました。また、地域支え合い連絡会での高齢者支援に関する現状報告・ご意見の収集、「地域ケア会議」を継続して開催し、各種専門職と地域住民とのネットワーク構築を目指して参りました。今年度は、前年度より回数を増やして開催することで、話し合いの機会をこれまでより多く作って参りました。さらに、民生委員さんとの協働により、在宅高齢者への定期的な訪問等を継続的に実施し、その方にあった適切な介護保険サービス、介護保険外のサービスの利用につなげて参りました。

実態把握

- ・連合町内会役員会、各町内会自治会役員会、民生委員児童委員連絡協議会他、各種専門委員会給食会、老人会、シニアの集い、福祉の集い等地域のイベントや集まりに参加し、地域包括支援センターの役割についての周知を図り、町内会役員・民生委員・各種ボランティア・ケアマネジャー・事業所・専門職等との情報交換を密に行い、実態把握に努めました。
- ・必要に応じて、依頼の方と同行訪問し一体となって支える体制を作って参りました。

2 権利擁護

権利擁護

- ・区役所や社会福祉協議会等の関係機関との繋がりを強め、スムーズな連携を心がけていきました。
- ・関係機関と協働で、地域向けに勉強会や研修会を開催し、権利擁護事業、成年後見制度の普及啓発に向けて努力して参りました。
- ・消費者被害に関しては、実際に発生した事例を地域の皆様に伝え注意を呼びかけました。
- ・サポートネットに参加する事によって、職員のスキルアップを図って参りました。
- ・また、エンディングノートについて講座等を実施し地域に周知していきました。

高齢者虐待

- ・区役所・地域・事業者・ケアマネジャー等との協力体制を作り、対象者の早期発見・早期解決に向け協同して行動して参りました。
- ・住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の方と情報の共有を図り、見守り体制を築いて参りました。
- ・虐待に関する研修会、勉強会等を通じ、様々な事例を通して職員のスキルアップを図って参りました。

認知症

- ・旭区キャラバンメイト ひまわりの会と連携し、「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域内における認知症の理解、対応の仕方等の普及啓発を図っていきました。
- ・地域内の小中学校でも講座を開催し、認知症への理解、対応の仕方等を普及啓発して参りました。
- ・地域での会合他、介護者の集い「プラっと西ケア」・介護予防サロン「わかば」今宿元気作りステーション事業「さくらんぼ」「ひなぎく」等において認知症に関するミニ講座等を行い、正しい認識を持って、地域での見守りが出来る体制づくりを継続して参りました。
- ・地域全体で支えていけるよう、見守りの体制を作り、安心して暮らせるまちづくりの一助となるよう取り組んで参りました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・委託ケースにつきましては、ケアマネジャーと連携しながら、総合支援事業やインフォーマルサービスなどを地域の皆さんに情報提供して参りました。
- ・かみしらねアカデミーにおいて、介護予防プランの勉強会を実施し、エリア内のケアマネジャーのケアマネジメント力向上を図りました。
- ・地区担当ケースワーカー、保健師とも連携したケースカンファレンスや事例検討会を主催または共催し、ケアマネジャーの抱える課題への解決の一助としました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー・事業所スタッフ等の専門職同士の関係づくりの強化と、専門職同士のネットワークを構築し、一人暮らしの方や認知症高齢者、要援護者の保護等、ならびに地域での介護予防に関しての意見交換・顔の見える関係作りを進め、協力体制を構築して参りました。（地域の医療と介護ネットワークづくり懇談会を8月と2月に開催しました）
- ・地域資源（インフォーマルサービス）をわかりやすく紹介するためのサービスマップ「今宿いきいきマップ シニア版」を活用、みな元気ステーションマップなども使用し、地域活動交流部門と共同で普及に努めて参りました。
- ・地域資源を活用し、色々なご相談がケアプラザに入るように、地域の皆様、関係機関の皆様との連携体制を構築して参りました。

医療・介護の連携推進支援

- ・近隣ケアプラザ合同で行っている「かみしらねアカデミー」では、医療関係者・介護職・福祉職を対象に薬局・薬剤師との連携、精神疾患・障害者等への支援について勉強会を行いました。
- ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・ケアマネジャー・事業所スタッフ等の専門職と、地域住民及び民生委員等とのネットワークを構築し、一人暮らしの方や認知症高齢者、要援護者の保護等、ならびに地域での介護予防に関する意見交換・顔の見える関係作りを進め、より密接した協力体制を構築してまいりました。
- ・今宿西地域版の医療と介護の連携を勧め、介護側から感じる「壁」をなくすことを目的として懇談会を開催しました（地域の医療と介護ネットワークづくり懇談会・8月と2月に開催、再掲）

ケアマネジャー支援

- ・定期的に各事業所を訪問し、地域包括支援センターの業務説明、情報説明、近況報告、情報共有イベント、事業告知等を強化し、より強い信頼関係を築き、相談、支援要請がしやすい環境整備をしました。
- ・地域包括支援センターの事業に地域のケアマネジャーの参加・協力を得、地域包括支援センターの業務や事業を理解してもらうとともに、ケアマネジャーからも情報発信が出来る場として各地域連携事業を活用しました。（地域の医療と介護のネットワークづくり懇談会にて）
- ・今宿西地域ケアプラザと他機関共催で事例検討会を開催しました
- ・地域の民生委員さんとケアマネジャーとの懇談会を開催致しました。
- ・年2回、就労予定新人ケアマネジャーの実習及び研修を実施しました。
- ・施設見学は、新設箇所を中心にコースを組み込み、エリア内の通所介護事業所と、老人保健施設、隣接地域のグループホームを見学先としました。全体研修の際は区社協の事業案内もお渡しする等、ケアマネジメントに必要な情報を提供して参りました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・従来の町内会・自治会・民生委員・老人会・給食会への情報提供・連携に加え、「ナイトセミナー今宿介護サービス勉強会」を開催し、地域の方々のニーズを第一に考え、医療情報等の講演を企画し地域の方々が必要な情報を得る事で地域の介護力向上につなげました。
- ・個別ケースの地域ケア会議開催に際しては、概ね3ヶ月に一度開催し関係者への連

絡・調整・情報提供を行う等、中心的役割を担って参りました。運営協議会や地域
支え合い連絡会を通じ、地域ケア会議リーフレットを活用し引き続き周知、協力を
図って参りました。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ・今年度も引き続き、自主事業として介護予防体操サロン「わかば」を開催してまいりました。「わかば」内で保健活動推進員の方やスポーツ指導員の方と連携して、地域の介護予防の普及のため体力測定教室等を開催して参りました。
- ・秋の健康チェックを開催。地域の方々に健康に対する関心を持っていただく機会を作りました。
- ・今年度、65歳以下を対象とした、早期介護予防事業として、運動強度高めの「ウォーキングで大人のヘルスコントロール」企画の実施を検討して参りました。
- ・区で所有されている「ロコモ度テストツール」を使用し、地域の方々のロコモ度の現状調査を行うと共に、ケアプラザ広報紙の地域包括支援センターからの情報発信コーナー（看護師コラム）で、ロコモ予防の重要性を発信し、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)に関心を持っていただくきっかけ作りを行って参りました。
- ・地域活動交流部門と連携し、自主事業としてコグニサイズ事業を実施することで、コグニサイズの普及・啓発を行ってまいりました。
- ・はまちゃん体操・ハマトレのDVDの貸し出しPRを積極的に行い、地域の各種会合等において、介護予防体操の実施を促進してまいりました。
- ・今年度も、今宿元気ステーション①さくらんぼ、②ひなぎくに毎回地域包括支援センター職員が参加し、また2か月に一度元気づくりステーション2者会を行い、運営スタッフのヒアリングや発展に向けての助言を行うなどの側面支援を行って参りました。
- ・エリア内で新たな今宿元気ステーションを立ち上げることができるように、支援して参りました。

6 生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- ・人口構成や要支援者等の基礎データについては、『データでみるあさひ』や横浜ポータルサイト等を利用して把握しました。地域包括支援センターの総合相談票、地域ケア会議、介護予防の地域アセスメント、今宿地区の最新の区民アンケート等を活用し、地域の高齢者の皆様を取り巻く様々な状況を把握しました。
- ・また、地域包括支援センターが立ち上げ、活動を支援してきた今宿元気づくりステーション『さくらんぼ』『ひなぎく』や、お茶のみサロン『こかげ』『さえずり』『ひなた』等の介護予防活動に継続的に参加することで、活動の参加者・担い手・運営

代表者の方々との関係性を構築してまいりました。その中で、地域の皆様の声に耳を傾け、継続的にニーズの収集・分析を継続しております。

- ・お茶のみサロンにつきましては、サロンの運営代表者の交流会を9月13日に開催し、サロン活動の活性化やサロン運営者のネットワーク構築の第一歩としました。
- ・これらの活動を通じ、住民主体による介護予防活動の団体・活動内容・対象者・担い手等に関する情報を収集し、整理した結果を地域活動・サービスリストとして作成いたしました。

圏域レベルの協議体の設置・開催

- ・今宿地区で高齢者への日常生活支援を担う活動『今宿地区チョットお手伝い』事業を推進するため、平成29年2月14日に開催された地域支え合い連絡会を協議体として活用いたしました。

今宿地区町内会自治会連合会が主体で取り組まれている『今宿地区チョットお手伝い』事業は、第3期旭区地域福祉保健計画の中の一つに位置づけられ、地域支え合い連絡会等を通じて旭区支援チームに支援されている事業です。また、地域支え合い連絡会は地域福祉の推進に向けた話し合いの場であり、生活支援体制整備事業の協議体のテーマと重なる為、地域支え合い連絡会を協議体として活用することにつきまして、旭区支援チーム、旭区役所高齢障害支援課係長、ケアプラザ所長、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターをメンバーとした事前打ち合わせの機会をいただき、旭区行政の理解と協力を得ることができました。

協議の場では『今宿地区チョットお手伝い』事業の受付体制、支援内容、広報等についての具体的な話し合いが行われました。また、お手伝いの依頼を受ける窓口担当や、お手伝いを担うサポーターの確保等については今後の課題として残りました。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

- ・圏域レベルの目標・取組の一つとして、今宿地区で高齢者の日常生活支援を担う活動『今宿地区チョットお手伝い事業』の推進を設定し、平成29年2月14日に開催した地域支え合い連絡会を協議体として活用して話し合いの場を持ちました。地域ごとに異なる特性がある中で、1人の高齢者の生活を支えるために必要な仕組みについて、協議体による話し合いを通じ、さらに目標・取組事項を設定してまいります。

具体的な取組事項への着手

- ・第3期今宿地区地域福祉保健計画に盛り込まれている『今宿地区チョットお手伝い』事業について、ケアプラザの広報紙『ぽけっと』の9月・10月号でPRしました。また、区内で取り組まれている住民主体のボランティア活動の先行事例について情報収集・整理を行い、事業の運営委員会に情報提供しました。2月14日には地域支え合い連絡会を協議体として活用し、事業推進に向けて支援チームの後方支援を行いました。

- ・ボランティア活動を始める入り口の一つとして『よこはまシニアボランティアポイント登録研修会』を9月30日に開催し、15名の方が参加されました。研修終了後、4名の方が高齢者支援のボランティアに登録され、実際の活動につながりました。

- ・今宿東町エリア内に今宿元気づくりステーションの新規立ち上げの取組みとして、11月22日に開催された民生委員児童委員協議会の定例会後、旭区役所保健師・地域包括支援センター職員と連携し、今宿東町エリアご担当の民生委員に立ち上げの

提案をしました。

- ・ 県営今宿団地の健康団地事業の推進を支援しました。（＊健康団地事業とは、団地住民の高齢化と空き住戸の増加を課題とし、空き住戸を団地にお住まいの方のたまり場として活用し団地の活性化を図るもので、神奈川県公共住宅課団地再生グループが県域で進めている事業です。）先駆的に健康団地に取り組まれている港南区の日野団地『憩いの家』の見学会を計画し、平成 29 年 3 月 21 日に見学会の実施・同行を行い、健康団地の運営方法や活動資金の確保等、具体的な取り組みイメージについて県営今宿団地自治会役員の方と共有することができました。
- ・ お茶のみサロン『さえずり』の今後の運営について代表者との話し合いの中で、現在元気に参加されている方が要支援者に該当しても、安心して通い続けることができるよう、要支援者等の受け入れ体制を強化する通所型サービスBへの移行を検討することになりました。まずは移行要件等、必要な情報を提供するとともに、平成 28 年 11 月には参加者の属性（介護認定の有無）を調べるためにアンケートを実施し、要支援認定を受けている方が 3 名参加されている事が分かりました。今後も、通所型サービスBへの移行について情報提供等の支援を継続いたします。

7 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市今宿西地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	17050	21279	149						5489
	介護保険収入					10066	92836	3447	8471	
	その他					1162	10373			
	介護予防ケアマネジメント費			5393						
	利用者等外給食費収益					174	1442			
	国庫補助金等特別積立金取崩額					988	8891			
	雑収益						40			
収入合計(A)	17050	21279	149	5393	11228	103209	3447	8471	5489	
支出	人件費	11911	18425			9285	52779		3356	3927
	事務費	1922	2237			1389	5339		345	
	事業費	224	375	107		574	4903		316	40
	管理費	2009	534			965	4173		267	
	その他	953			3102	1356	12055			
	介護予防委託費				3102					
	利用者等外給食費					195	1606			
	減価償却費					1161	10449			
	消費税	953								
支出合計(B)	17019	21571	107	3102	13569	79249		4284	3967	
収支 (A) - (B)	31	-292	42	2291	-2341	23960	3447	4187	1522	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ジュニアスケッチクラブ	年中～小学生	11,426	226	11,200		11,426	
	112人						
	100円						
そろばん	小学生	76,843	34,743	42,100	76,843		
	423人						
	100円						
ミュージックサロン	60歳以上の方	217,486	886	216,600	93,540	123,946	
	721人						
	300円						
タイ式ヨガ	子育て中の女性	145,711	3,711	142,000	122,500	23,211	
	284人						
	500円						
親子deダンス	2～4才と保護者	82,757	1,757	81,000	61,253	9,124	12,380
	320人						
	500円						
キッズダンス・ワンステップ	幼稚園児	130,195	195	130,000	66,822		63,373
	260人						
	500円						
音楽喫茶Zio	地域	31,865	465	31,400	12,317	19,548	
	305人						
	100円						
母の日に手作りプレゼント	小学生以上	5,341	2,941	2,400	3,341	2,000	
	8人						
	300円						
切り絵講座	地域	26,578	17,478	9,100	24,497	2,081	
	91人						
	100円						
父の日に親子でそば打ち体験	父親と園児・児童	7,700	2,200	5,500		7,700	
	11人						
	1,000円						
わくわく不思議サイエンス	小学生	8,341	841	7,500	3,341	5,000	
	25人						
	300円						
ヴォイストレーニング	小学生・地域の方	69,098	2,598	66,500	66,820	2,278	
	156人						
	300円・500円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
げんきに脳トレ	65歳以上	128,499	48,099	80,400	128,064	435	
	268人						
	300円						
はじめてのビーズアクセサリ	成人	38,544	144	38,400	6,682	31,862	
	31人						
	1200円						
シング・ア・ソング	精神障がい者他	26,724	16,124	10,600	26,724		
	49人						
	100円						
クリスマスコンサート	地域	5,486	1,786	3,700		5,486	
	50人						
	100円(飲物代)						
書初め教室	小学生	7,795	1,395	6,400	7,795		
	32名						
	200円						
今宿西オープンカフェ	地域	133,014	3,264	129,750		133,014	
	1105人						
	100円						
高校生ボランティア講座	高校生	5,071	5,071	0		5,071	
	13人						
	0円						
子育て広場びよんびよん	未就園児と親	27,154	7,454	19,700	15,034	12,120	
	945人						
	0円						
囲碁・将棋サロン・キッズ	小学生・地域	0	0	0			
	121人						
	0円						
旭ふれあい区民まつり行政PRコーナー出展事業	地域	216	216	0			216
	0円						
迎春生け花講座	地域	0	0	0			
	11人						
	0円						
ケアプラザ祭	地域	9,619	3,919	5,700	5,568	4,051	
	600人						
	100円(飲物代)						
楽しく英会話	地域	120,176	27,176	93,000	66,816	53,360	
	269人						
	500円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市今宿西地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニアスケッチクラブ	目的：地域の幼稚園～小学生に、情操教育の一環として「水墨画」を描く機会を提供すると共に、地域の方のボランティアの機会をつくること。 内容：月に1回、土曜日の午前10時～11時、地域在住のボランティアを講師として招き、水墨画を描く。作品を定期的に、ケアプラザに展示して、地域に紹介します。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そろばん	目的：地域の小学生に、「そろばん」を気軽に体験する機会を設け、計算が好きな子供を増やすこと。 内容：月に2回、水曜日の放課後、地域在住の方を講師に迎え、そろばんの指導をします。地域の方に採点のボランティアとして参加していただきます。	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージックサロン	目的：高齢者の外出の機会を増やし、参加者同士の交流、仲間作りの場とします。 内容：月に1回、第一金曜日の午前10時～11時50分、講師のアコーディオンの演奏に合わせて、季節感を感じていただける唱歌、懐かしい歌を歌います。参加者がお友達を連れて来られ、参加者の歌の輪が広がる場を作ります。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
タイ式ヨガ	目的：子育て中の女性が、ヨガの運動を通してリフレッシュできる時間を提供すると共に、ヨガ教室参加をきっかけに子育て広場事業への参加につなげる。また、未就園児連れ参加okとして、ボランティアスタッフの見守りを行い、ケアプラザ登録ボランティアスタッフの活動の場を作ること。 内容：月2回、多目的ホールでヨガを行います。途中、お茶の時間を設け、参加者同士の交流の時間を作ります。	通年 20回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子deダンス	目的：親子共に参加できるダンス教室として、親子のふれあいを深め、また新しいお友達作り、交流の場を提供すること。 内容：地域在住のダンスの指導者を講師役として迎え、親子で楽しめるダンス講座を開催します。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズダンス・ワンステップ	目的：青少年の健全育成の機会提供を行うこと。 内容：地域で子供向けダンスクラブを指導している講師を招き、楽しい音楽に合わせてダンスの振り付けを指導。最初の回と最終の回のみ保護者の見学OKとして、保護者と離れて練習。最終回に、保護者の前で披露します。また、デイサービスで発表してもらい、交流の機会を設けます。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽喫茶Zio	目的：老若男女問わず、音楽愛好者が集い、交流する機会を設ける。運営ボランティアを育成する。 内容：鑑賞に使うレコードの寄付を地域住民にお願いして集まったレコードをジャンル別に分類。広報紙や地域住民の集まりで開催告知を行う。プログラムは3時間を3つのジャンルに分け、リクエストを受けながらレコードをかけます。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日に手作りプレゼント	目的：母の日に合わせて、プレゼントを作り、プレゼントすることで、親子の絆を深める機会を作ります。また、ケアプラザをまだ利用したことがないファミリー層の方に、ケアプラザに来館していただく機会を設け、今後の利用促進につなげます。 内容：アロマオイルを使ったかんたんな香水を手作りして、プレゼントとして持ち帰ります。	5月 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
切り絵講座	<p>目的：切り絵を通じて小さな芸術作品を創作することの喜びと交流機会を提供します。</p> <p>内容：講師が切り絵とは何か？切り絵のやり方などを説明した後、題材をもとに個々に切り絵を実践します。講師が一人ずつ指導します。</p>	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父の日に親子でそば打ち体験	<p>目的：父親と一緒に物作りを行うことで、親子の交流の機会を設けます。特に、ケアプラザをまだ利用したことがない世代の方にケアプラザに来館していただく機会を設け、今後の利用につなげます。</p> <p>内容：地域のそば打ち教室の先生がそば打ちを教え、出来上がったものを食べていただきます。</p>	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わくわく不思議サイエンス	<p>目的：子供たちが楽しみながら学び、地域の子供たちの交流を促す。特に、ケアプラザをまだ利用したことがない世代の方にケアプラザに来館していただく機会を設け、今後の利用につなげます。</p> <p>内容：氷水等を使って自分でアイスやバターを作ったりして食べる。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヴォイストレーニング	<p>目的：子育て世代や高齢者が一緒に歌を歌う事で、世代を超えた交流の機会を提供する。</p> <p>内容：地域の方を講師として招き、ヴォイストレーニングをしながら歌をうまく歌うコツを習い、コーラスグループなどの参加を促し地域交流を促進する。</p>	通年 12回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
げんきに脳トレ	目的：地域包括支援センターと共催で認知症予防のコグニサイズで介護予防や地域交流の機会の提供。 内容：看護師と一緒に参加して参加者の体調を確認しながら、講師が認知症予防のコグニサイズを教える。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめてのビーズアクセサリ	目的：ビーズアクセサリ作成を通じて小さな芸術作品を創作することの喜びと交流機会を提供すること。 内容：講師がビーズアクセサリの作り方などを説明した後、個々にビーズアクセサリ作成を実践する。講師が一人ずつ指導していく。	4月・10月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シング・ア・ソング	目的：地域包括支援センターと共催で開始し、精神障がい者が地域で集える場所を作るとともに、そのサロンを運営するボランティアを育成することで、地域住民の精神障がい者に対する理解啓発を行う。 内容：当事者と付添い者、ボランティアがケアプラザ近隣在住の音楽療法士による選曲および伴奏で歌を歌いながら交流します。	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	目的：ケアプラザに足を運んでいただく機会とすること。また、ボランティアさんに運営に関わっていただくことで、ボランティア活動機会の提供を行うこと。 内容：＜第1部＞県立旭陵高校吹奏楽部の皆さんのクリスマスにちなんだ曲の演奏。＜第2部＞音楽系の登録団体の演奏等＜第3部＞自主事業の講師の演奏に合わせ会場全員でクリスマスソングを歌う。運営については、ボランティアグループかたつむりメンバーや中学生ボランティア活動部に受付等をサポートしてもらいます。	12月 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
書初め教室	<p>目的：地域の小中学生に、ケアプラザに来てもらう機会を作ると共に、趣味活動団体のグループのボランティア活動に対する意欲を高め、活動していただく機会を作ること。</p> <p>内容：学校の課題になっている書初めをケアプラザでみんなで取り組みます。ケアプラザ利用団体メンバーが会場準備、当日の指導をボランティアとして担います。教室終了後は、作品を持ち帰る他、館内に「書初め作品展」として展示します。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今宿西オープン カフェ	<p>目的：地域ケアプラザをもっと身近に利用していただくこと。企画、運営等にあってボランティアスタッフを募り、ボランティア活動分野を広げる。</p> <p>内容：エントランスホールを開放して音楽を聴きながらのんびりくつろいでいただいたり、地域住民の方々と交流していただけるカフェ空間を演出。囲碁・将棋等のコーナーも設け、様々なくつろぎスタイルを提案する。</p>	通年36回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高校生ボラン ティア講座	<p>目的：今宿地区中学生ボランティア活動部の卒業生などのボランティア活動の場の提供。</p> <p>内容：花を育て、民生委員と共に高齢者に届けるなどの活動を行う。また、ボランティアに必要なと思われる事を講師を招き、レクチャーなどを行う。</p>	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場ぴよ んぴよん	<p>目的：子育て中のフリースペースとして、新しいお友達作り、情報交換の場として、また先輩ママがボランティアとして携わることで悩み相談の場とします。</p> <p>内容：月2回、月曜日の午前10時～午後2時、多目的ホールをプレイルームとして開放します。また、地域の先輩ママがボランティアとして参加、区役所地区担当の保健師に参加してもらう等、気軽に相談できる体制を継続していきます。</p>	通年 25回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁・将棋サロン・キッズ	目的：地域の方と小学生の放課後の有意義な活用の場を提供。 内容：初心者・小学生向けに地域在住のボランティアが囲碁・将棋を指導します。月2回、第1・3水曜日に開催。	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政PRコーナー出展事業	目的：区民に対してケアプラザの認知度を高める。 内容：ケアプラザをPRするため、行政・PRコーナーに出展する。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
迎春生け花講座	目的：地域ケアプラザを利用することのない、あるいは少ない方々に、ケアプラザに足を運んでいただくきっかけを作る。 内容：講師が活けたお花を見ながら、新年を迎えるための生け花を行う。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭	目的：地域の多くの方にケアプラザを知っていただく、事業内容をご紹介する機会とする。また、ボランティア活動に、ケアプラザ登録団体の方に携わっていただくことで、ボランティア活動に対する関心を高める機会とする。 内容：多目的ホールで自主事業参加者のダンスやサークル活動の歌等の発表、パッチワーク等の作品展示、活動紹介。体組成計を使った健康チェック、介護等についてのご相談等の実施。今宿地区町内会自治会の模擬店出店など、地域住民が気軽に参加しながら、ケアプラザを知っていただく機会を提供。なお、運営にあたっては、ケアプラザ登録団体によびかけ、ボランティアスタッフを募り、麻雀、太極拳、ボーイスカウト、社交ダンス等、色々な分野のサークルから、また中学生ボランティア活動部から、ボランティアとして参加してもらう予定。	3月 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく英会話	目的：英語を通して地域の交流を図る。高齢者、未就園児とその親を対象に英語のある環境を作る。 内容：高齢者向けは東京オリンピックを家でテレビで見るのではなく、会場に見に行こうという目標で、簡単な英会話を学ぶ。未就園児とその親向けは、親が子供に話しかけるきっかけを作り、親子の交流や、子供に関心を持ってもらう為に英語というツールで遊ぶながら学ぶ。	9月～ 8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアボランティア講座	目的：シニア世代の方がボランティアに関わる機会をつくり、地域で活躍する事が出来るようにヨコハマいきいきポイントの活用を促進する。 内容：シニア世代にヨコハマいきいきポイントの講習を開催し、ボランティア活動を始める機会を設ける。	6月・1月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	目的：ケアプラザで活動しているボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、ボランティア同士の交流の機会を提供し、今後の活動の励みとしていただく。 内容：手話ダンスなどの活動団体に発表していただいたり、参加者全員に自己のボランティア活動を紹介していただく。コーヒー・ケーキをとりながら歓談する時間を設ける。	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこでベビー&キッズマッサージを楽しもう	目的：地域の子育て世代にケアプラザを利用してもらう。子育て世代のママに子育て支援を行う。 内容：①ベビーマッサージとキッズマッサージの講義②その後、実際にマッサージをしてみましよう！ということで、お子様がいる方は、お子様にむけて、プレママまたは、ママだけの参加の方は、同士でペアになってもらい、ハンドマッサージを行いました。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

<p>～Mr イクメンに学ぼう～「パパ、これ読んで！」</p>	<p>目的：地域の男性が育児に参画するきっかけを作る 内容：パパならではの絵本読み聞かせ講座を開催。講師による絵本読み聞かせのノウハウを学ぶ。</p>	<p>10月 1回</p>
---------------------------------	---	-------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>ふれあいウォーキング</p>	<p>目的：旭区の3つケアプラザ（白根・川井・今宿西）合同で地域を知りながらのウォーキング 内容：白根～川井～今宿西を各地域の名所を辿りながらウォーキング。白根地域ケアプラザで体操をして帷子川の分水路見学、白根不動から尾根道を通り八幡神社、川井地域ケアプラザで昼食、今宿地区ではかやぶき屋根の民家を見学して、今宿西地域ケアプラザでコーヒーを飲みながら当日の振り返りをおこないました。</p>	<p>11月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>おいしく学んで満点教室</p>	<p>目的：地域の子育て世代の親子に食育と地域交流を図る。旭区ヘルスメイトと共同事業をする事で、つながりを密にする。地域の高齢者に栄養をとる必要を学んでもらう。 内容：地域の高齢者に栄養などの講習と盛り付け等実技、試食を行う。</p>	<p>11月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>～親子で作ろう～クリスマスアイシングクッキー</p>	<p>目的：地域の子育て世代の親子に食育と地域交流を図る。自分の手で食べ物を作り出来上がった喜びを味わう。食べたい食べてもらいたいという気持ちから家族や地域での会話を育む。 内容：講師が事前に用意したアイシングセットを使って講師の指導を受けながら、アイシングクッキーを作る。</p>	<p>12月 1回</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今からでも間に合う！パソコン年賀状講座	目的：パソコンを使って既製品ではない、オリジナルの年賀状を楽しみながら年賀状をつくり、今後のパソコン講座につなぐ。 内容：既製品の年賀状ソフト付の本を使用し、インストールから一緒に行う。デザイン等のアドバイスを行いながら、個別に対応する。家でプリントアウトするだけまで完成を目標。	12月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
今宿西煤払い隊～年末大掃除～	目的：日頃、ケアプラザを利用している団体のみなさんと一緒にケアプラザの掃除活動を行い、ケアプラザを綺麗に利用する気持ちを強める。ボランティア活動の一環として、ボランティアの気持ちを育む。 内容：ケアプラザの大掃除を登録団体のメンバーで行う。ボランティアの参加人数でサークルのボランティア活動とする。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
和紙で作ろうひな人形	目的：ひな人形を和紙で作る事で、季節感を感じながら自分で楽しむ。また、人にプレゼントする等で喜びを感じて新しい趣味の発見。 内容：和紙でひな人形を作る。講師が参加者にゆっくり男雛と女雛の作り方を教える。	1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体発表会～2017～	目的：登録団体の交流と日頃の活動の成果を報告する場の提供。地域の方に登録団体を知ってもらい、参加などを促す。コーヒーなどの販売を行い、オープンカフェの宣伝もする。 内容：登録団体の中から約8団体に活動の報告を兼ねた発表会を開催する。	1月 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バレンタインデーお菓子作り	目的：地域の子供達等にケアプラザの調理室を使っていた だき、ケアプラザを知ってもらい、利用につなげる。高校 生ボランティアの生徒の活躍の場を作る。 内容：高校生ボランティアの生徒達と一緒に小学生に「ガ トーショコラ」作りを教える。 そして、作ったガトーショコラをみんなで食べて帰る。	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でスティックおにぎり	目的：地域の子育て世代の親子に食育と地域交流を図る。 内容：旭区ヘルスメイトと共同事業をする事で、つながり を密にする。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレンジメント講座	目的：ケアプラザを知らない幅広い世代の方に知ってもら い、理解を深める。各世代の方々の交流の場を図る。 内容：講師が作り方などを説明した後、個々にフラワーア レンジメント作成を実践する。講師が一人ずつ指導してい く。	9月・2月 2回